

# 月刊 天真

## 1月号

発行日 2023(令和5)年1月1日  
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺  
 住職 西原恵照  
 第550号



浄土真宗  
本願寺派  
天真寺

こうじゅむりょう  
光寿無量  
きんがしんねん  
謹賀新年



どなたでも  
参加自由

2023(令和5)年 元旦会 のご案内

【日時】 2023(令和5)年 1月1日(元日) 午後 2時 (~3時)  
 【場所】 天真寺本堂  
 【次第】 正信偈のおつとめ、流杯の儀

光輝く一年のはじまりを迎えます。ともに新春をよろこび、ご一緒に阿弥陀さまに新年のご挨拶をいたしませんか。どなたでもご自由にご参加いただけますので、ぜひお参りください。お参りには、マスク着用にご協力ください。皆さまのご参拝をお待ちしております。

### 今月の行事予定

2023年 1月

日	月	火	水	木	金	土
1 元日 7:00日曜礼拝 ● 14:00元旦会 ●	2 休日	3	4	5	6	7 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
8 7:00日曜礼拝 ●	9 成人の日	10	11	12	13	14
15 7:00日曜礼拝 ●	16	17	18 【講師】田原哲師(東京)	19	20 13:30新春法話会 ●	21 13:30グランドゴルフ
22 7:00日曜礼拝 ●	23	24	25	26	27	28
29 7:00日曜礼拝 ●	30	31				

●印のある行事は オンライン生配信 いたします  
 → <http://www.koumyou.net/tenshin>

＜来月の予定＞ 2月20日 13:30 法話会

### 天ちゃんの一言

- 子どもの居場所「駄菓子カフェ くるくる」がやってくる！  
 ＜日時＞ 1月25日(水)11:00 ＜場所＞ 天真寺駐車場 (参加自由、無料)
- 門信徒会の皆さまにお礼申し上げます  
 副住職夫婦の長女誕生に際し、門信徒会より御祝を頂戴いたしました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。また名前は、親鸞聖人のお言葉からいただき、「安穩(あんのん)」と命名いたしました。
- 本年もどうぞよろしくお願いいたします。  
 皆さまにとって、お念仏とともに心豊かに過ごせる年となりますよう心より念願しております。本年も、ぜひご一緒にお聴聞いたしまししょう。
- 仏事のご相談、お墓のお悩みはお寺までお気軽にどうぞ  
**天真寺が管理する「永代合葬墓」があります**  
 ★「やすらぎ堂」(松戸大町やすらぎパーク内) 管理費なし  
 ★「あんのん堂」(親鸞聖人のご廟所・京都大谷本廟内) 管理費なし  
 ★一時預かり「納骨堂」(天真寺2F) 年間管理費 1万2千円
- 天真寺ホームページで住職、副住職のブログを連載しています

住職のブログ「住職の独り言」 [blog.goo.ne.jp/ranman\\_kn](http://blog.goo.ne.jp/ranman_kn)  
 副住職のブログ「天真寺通信」 [tenshin.or.jp/](http://tenshin.or.jp/)

### 入会随時募集 門信徒会

に入りませんか

お寺のお仲間になって、一緒にお参りませんか。仏法を聞き自らを見つめる時間は、人生にとって大切なものです。

毎月、寺報と仏教雑誌を送付します。どなたさまもご入会お待ちしております。

＜年会費＞  
 一戸：3千円

＜ゆうちょ払込先＞  
 天真寺門信徒会  
 00130-6-567186

### お寺の掲示板の言葉



人のわるきことは よくみゆるなり  
 わが身のわるきことは おぼえざるものなり  
 (蓮如聖人)

## 天真寺

〒270-2251  
 千葉県松戸市金ヶ作106番地  
 TEL 047-389-0808  
 FAX 047-389-0809

[www.tenshin.or.jp](http://www.tenshin.or.jp)

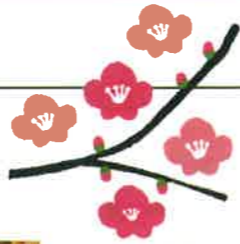


オンライン  
配信あり



# 新春 法 話 会

一緒に仏さまのお話を聞きましょう！



【日 時】 1 月 20 日 (金) 13:30

【講 師】 田原 哲 師 (板橋区慈光寺副住職、本願寺派布教使)

【場 所】 天真寺本堂



天真寺には  
二度目のご  
登壇です  
お楽しみに

どなた様も自由にご参加いただけます。一年間の皆勤賞・精勤賞を目標に、  
ご一緒にお聴聞をはじめませんか！マスク着用にご協力ください。  
茶話会の開催は引き続き見送りとさせていただきますことご理解ください。



★ オンラインでも見られます → <http://www.koumyou.net/tenshin>

## 2023(令和5)年 年 回 表

～ つながりの中で 生きている ～



一周忌	2022(令和4)年
三回忌	2021(令和3)年
七回忌	2017(平成29)年
十三回忌	2011(平成23)年
十七回忌	2007(平成19)年
二十五回忌	1999(平成11)年
三十三回忌	1991(平成3)年
五十回忌	1974(昭和49)年
百回忌	1924(大正13)年

年忌法要(法事)は、定められた年に、故人のご命日をご縁として仏法に会い、阿弥陀さまの恩徳に報謝する思いでおつとめする法要です。

今年については、左表の通りとなりますので、ご確認ください。〈日程〉は、故人のご命日、またはその前後の日で、ご家族が都合のいい日をお選びください。ご命日の後になっても大丈夫です。〈場所〉は、お寺か、ご自宅でおつとめいたします。「オンライン法要」も可能ですので、ご希望の方はお声がけください。

その他、ご不明なことがございましたら、お寺までご遠慮なくお尋ねください。



### 副住職が築地本願寺でお話

昨年、築地本願寺で開催された  
12月8日「成道会布教大会」「築地の寺婚」  
12月8日～11日「仏さまのお話」  
12月14日「TSUKIJIアカデミー～親鸞聖人のご生涯～」で講師をつとめさせていただきました。お参りくださった方々にはお礼申し上げます。



### 本願寺「御正忌報恩講法要」

親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて、阿弥陀さまのお救いをよろこぶ法要です。京都の本山・本願寺で営まれます。法要はインターネット配信され、お参りもお聴聞もできますので、ぜひご参加ください。

【日時】 令和5年1月9日(月)～16日(月)  
※ 法要期間中「本願寺」で検索してご視聴ください。



## 新年のご挨拶

天真寺住職 西原 恵照



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は「親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が3月29日より5月21日まで5期にわたり本山(京都西本願寺)で厳修されます。皆さまにおかれましてもご参拝いただければと存じます。



アメリカのインターネット検索サービス会社が、インターネット検索で回答を得ることが出来なかった質問を発表し、そのトップは「生きる意味はなんですか?」でした。私たちは、「これからどう生きようか」とは考えますが、「何のために生まれて来たのか?」「死んだらどうなるのか?」という命の行く末については考えないようにしているのが現実ではないでしょうか。



『御文章』には、  
「死ぬ時は、頼りにしていた家族も財産も何一つ私に連れ添ってはくれません。独りで死んでゆくのです。故に、死んだらどうなるのかという後生の一大事を解決してくださったのは阿弥陀如来だけであります。その救いの法を疑いなく信じ念仏申し安養の浄土へ参らせていただきますよう」と、蓮如聖人は私たちの現実のすがたと、この世に生まれた意味と目的をお示し下さいます。



『正信偈』には、  
「如来所以興出世 唯説弥陀本願海」(意訳:お釈迦さまがこの世に生まれてきた理由は、ただ阿弥陀如来の救いの法を説くためであります)と示されます。親鸞聖人や蓮如聖人は仏の教えを受け、後生の一大事を解決して、人間に生まれた意味を明らかにし、安心のうちにこの世を生き抜き、究極の幸せの世界(おさとの世界)へ往生するためと示されます。

私の日頃の生活を考えてみますと、言ってはならないことを言って人を苦しめたり、人の失敗を同情しながらも面白がったり、ねたみ、恨み、怒り、と煩惱がまさに泉の如く湧き出てくるのが私のすがたであります。



親鸞聖人はそのような私たちに、何の心配もいらない、「そのまま救われていく道があるよ」と教えて下さいました。不安いっぱい、愚痴いっぱい、死を恐れこの世にしがみついている、「そのままのすがたのままで必ず救いとるぞ」と呼びつづけてくださるのが阿弥陀如来さまのお慈悲です。

そのお慈悲を思うと、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」と仰ったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。

この一年、私がどんな状況にあらう私に寄り添ってくださるお慈悲の中で、お念仏と共に心豊かに浄土への日々を過ごして参りましょう。合掌

